

東日本大震災復興支援
第49回男子・第41回女子全日本教員バスケットボール選手権大会
(ぎふ清流国体バスケットボール競技リハーサル大会)

開催場所: 久々野体育館
試合区分: 女子1回戦
開催期日: 2011年8月11日 (木)
開始時間: 12:30

主審: 大橋 宏吉
副審: 小森 裕子



Team A 埼玉 Saitama P&C	○ 76	18 -1st- 14 23 -2nd- 12 19 -3rd- 22 16 -4th- 17	● 65	Team B 大阪 T&E
------------------------------------	----------------	--	----------------	----------------------------

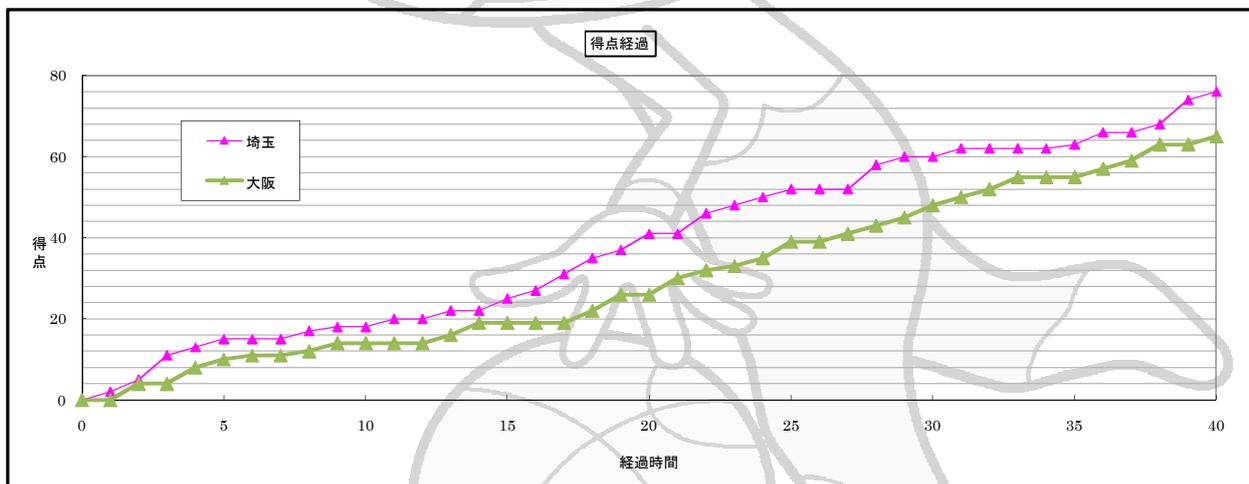
TEAM A		埼玉									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A		
4		小野 奈津美	2	0	0	2	1	0	0		
5		岸本 佳奈枝	2	0	0	2	1	1	0		
6		橋本 佳代子	-	-	-	-	-	-	-		
7	*	早津 美香(C)	7	0	2	3	2	4	3		
8	*	雪野 祐実	5	1	1	0	3	2	1		
9		尾沢 恭子	4	0	2	0	0	1	0		
10		津留崎 治子	4	0	2	0	0	0	1		
11		坂本 秋子	6	0	1	4	2	4	0		
12		小椋 恵	3	0	1	1	0	2	0		
13	*	内田 敦子	10	1	3	1	4	6	3		
14	*	武藤 由里	19	3	5	0	3	3	2		
15		渡邊 舞	2	0	1	0	1	1	0		
16	*	大澤 由紀	5	0	1	3	2	4	0		
17		永堀 美由紀	2	0	1	0	0	1	0		
18		當間 美加	5	0	2	1	1	2	0		
Coach		津留崎 治子									
TOTAL			76	5	22	17	20	31	10		

TEAM B		大阪									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A		
4	*	中島 千恵(C)	11	2	2	1	2	5	2		
5	*	足立 加奈子	27	0	9	9	4	7	1		
6		後藤 美沙	-	-	-	-	-	-	-		
7	*	中岡 由香里	3	1	0	0	1	0	1		
8		山岡 望美	2	0	1	0	3	0	1		
9		市川 藤乃	-	-	-	-	-	-	-		
10	*	水田 恵子	0	0	0	0	4	4	1		
11		松岡 奈々	2	0	0	2	0	0	0		
12		妻鹿 さなえ	-	-	-	-	-	-	-		
13		渋谷 香澄	0	0	0	0	0	0	1		
14		佐藤 佳世	4	0	2	0	0	3	0		
15	*	西岡 千恵	12	1	3	3	3	6	0		
16		山本 裕美	2	0	1	0	2	3	1		
17		森 照代	2	0	0	2	4	5	0		
18		谷藤 千春	-	-	-	-	-	-	-		
Coach											
TOTAL			65	4	18	17	23	33	8		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
	- -	32:10 - -	- -	- -

Timeout (経過時間)	1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
	03:34 16:40	28:32 34:43 38:19	- -	- -

*: スターター (C): キャプテン PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール R: リバウンド A: アシスト



ゲームは、ハーフコートからお互いに激しいディフェンスのぶつかり合いで始まった。そんな中、埼玉は、#8、#13、#14の連続3Pシュートで得点すれば、大阪は#5がファウルで得たフリースローを確実に決める。1Q埼玉が18-14でリードして終了。
2Qも、お互い一歩も譲らない気迫のあるプレイが見られ、ファウルも重なってきた。激しいゴール下での競り合いで埼玉は、ファウルからフリースローを得て確実に決めていった。また、埼玉は高さを生かしてリバウンドを制し、優位に立っていった。対して、大阪も#5のドライブイン、ゴール下のジャンプシュートでしっかり攻めていた。前半終了間際、埼玉の#17がスチールから得点し、前半41-26で埼玉がリードして終了。
後半、埼玉は速いパス回しから#14の連続シュートで攻める。大阪は、#15の連続シュートで、巻き返しにかかる。3Qの開始5分で、大阪はメンバーを全員入れ替え、小柄な選手がオールコートマンツーマンディフェンスで必死に追い上げを図るが点差を縮めるには至らない。埼玉は、大阪の激しいディフェンスに押され気味であったが、高さを生かし落ち着きを取り戻して攻めていた。3Qは、埼玉60-48で終了。
4Qに入っても埼玉は、リバウンドをきっちり取っての速攻、スチールからの得点を確実に決め、全員がよく走って得点を伸ばし、76-65で終始リードを守って勝ち切った。大阪は、最後はオールコートマンツーマンに切り替えて必死の守りを見せ、#5のシュートや#10の果敢なプレイで追い上げを図ったが、追い上げきれなかった。

記載責任者 野村 真理子 (所属) 岐阜県バスケットボール協会

* 得点は(Aチームの得点)-(Bチームの得点)、選手の背番号は#(番号)で表記しています。